

地域型住宅ブランド化事業における 環境貢献の見える化について

平成25年6月25日
Woodmiles Forum 2013
株式会社山長商店 取締役副社長
榎本 崇秀

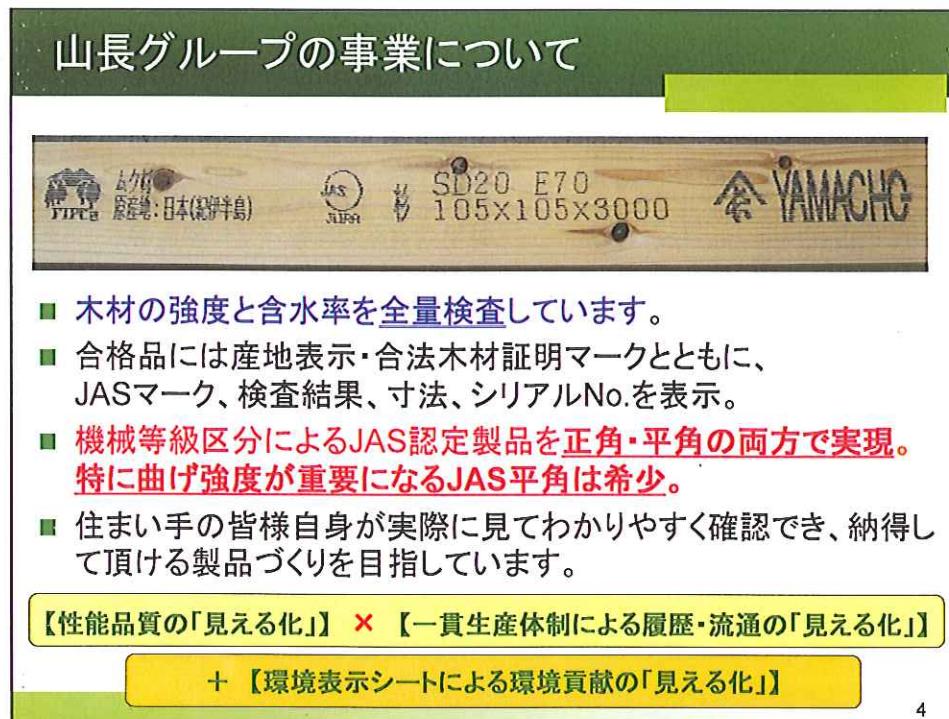
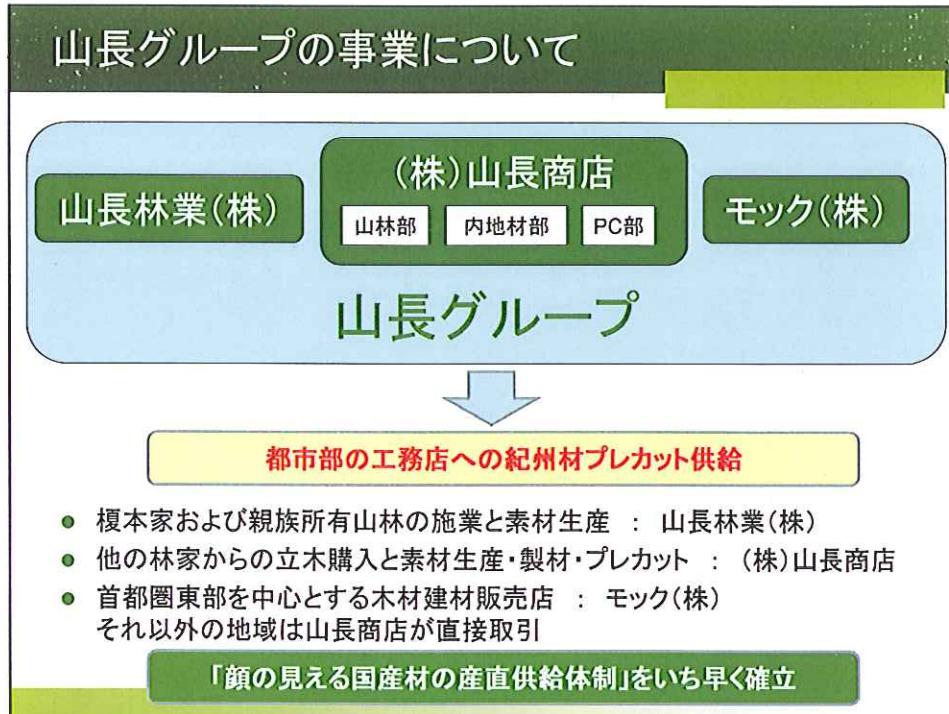
山長商店とは



- 1700年頃(江戸中期)創業。
薪炭の商いからスタート。
- 江戸末期、紀州備長炭の商いの傍ら、
林地所有を始める。(主に薪炭林)
- その後、商売拡大とともに林地拡大。
戦後には所有5000haを超える。
- 昭和27年「山長商店」設立
⇒林業から木材・製材業へ。
- 平成9年 外材製材を転換する形で
プレカット工場操業開始。
同年、首都圏工務店との提携始まる。
- 平成16年 機械等級区分JAS認定取得
(Aタイプ)

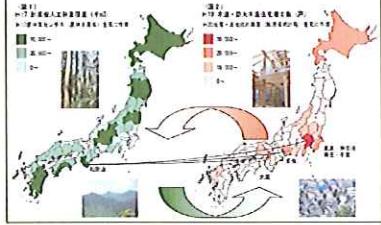
林業(植林・育林)から製材、プレカット加工までの一貫生産体制

首都圏を中心とした地域工務店様に年間約900棟分のPC加工を供給



先導事業・ブランド化事業での提案について

- 基本理念
 - 優秀な木材の蓄積は地方の林産地に偏っており、木造住宅の需要は都市に偏っている。**(資源と需要の偏在)**
 - 狹義の地産地消では、過疎が進む地方の林産地で、需要不足・販売不振による経営難によって施業放棄地が広がっている現状を解決できない。
 - よって、我々は地方の林産地から都市の消費地への木材資源の循環による、木材資源の持続的利用及び循環型社会の成立を目指す。
 - 都市の住宅は「第二の森林」。都会の森林として在り続ける木造住宅。
 - 林産地に都市の木材需要を創出することにより、森林整備推進、雇用拡大、ひいては地域活性化に貢献できる。
 - 同時に、優れた品質確保がされている木材を供給することにより、**都市で「良い木で良い家を建てる」**優良住宅建築に大きな役割を果たす。



林産地と都市 をつなぐ新しい ネットワーク

材産地と都市の循環型社会を目指す
紀州材の家づくりネットワーク

江戸の昔から良い木が数多く育てられてきた木の国・紀州。
その木を都市に住む皆さんのお家に使うネットワークができました。
木材を知り尽くした一流の工務店が、日本一品質の良い
紀州の木材を使って、都市の皆さんのもらしを守るお家をつめています。
都市の皆さんのもらしに、地方の優れた資源を活かす。
これが私たちのネットワークの概念です。

きのくに家

共創貢献都市住宅

長期優良住宅先導事業での取り組み



環境表示シート
YAMACHO

- 先導事業を利用した70棟
全てにこのeco sheet を発行。
- 件数が多かったため、ウッドマイルズ研究会の了解を得てウッドマイルズ計算を一部簡略化。
 - 原木輸送距離を複数現場からの平均値で設定
 - 建築現場への輸送距離を都道府県庁までの距離で代表。
- 「木材の輸送エネルギー削減率」「木材の乾燥エネルギー削減率」「木材の炭素固定量計算」
それぞれの概念の説明に2ページを割き、内容の啓発に努めた。

長期優良住宅先導事業での取り組み

真鍋淳弘様邸

Introduction

- 「環境表示シートとは」

環境表示シート

- 「「真鍋先生邸」
- 「「炭素固定量」」
- 「「ウッドマイルズ計算」」

01 環境表示シートとは

この「環境表示シート」とは、尼崎市長をはじめ多くの市町村で実施されている取り組み。建築材料に対する取り扱い方や、施工方法等は既定されているが、それらのほとんどが、アノテーションによっていつでもどちらでも入れ替わっています。また、アノテーションによって手書きで書きたい場合も、それを用意しておいてください。書き込みができるだけの範囲で、紙面を複数枚用意しておいてください。

既存の木材を削減すれば省エネになりますが、その他の木材使用料金を算出する際では削減率を考慮する必要があります。

木造住宅で大きな構造から、外観工種、そして建築地までに施設エネルギーを計算することを「ウッドマイルズ」と言います。詳しくは、ウッドマイルズ研究会ホームページをご覧ください。

これまで、国が木造住宅と化粧合板等の複数エネルギーを同時に測定していることを実現しています。

また、このシートは建築工事の「最初」にリーンにしたコトマイレーベンを実現しています。ドットカタログを立てていますのでどうぞ参考してください。

地域型住宅ブランド化事業での取り組み



- eco sheet の内容を A4版1枚に簡略化。炭素固定量表示と ウッドマイルズ計算に絞る。

- イラスト付きで ソフトな感じに。

- 木造で建てて良かった(^^) と感じてもらいたい。

- 分かりやすさと情報量の バランスが難しい。

林産地と都市 をつなぐ新しい ネットワーク

林産地と都市の循環型社会を目指す
紀州材の家づくりネットワーク

江戸の昔から良い木が数多く育てられてきた木の国・紀州。
その木を都市に住む皆さんのお家に使うネットワークができました。
木材を知り尽くした一流の工販店が、日本一品質の良い
紀州の木材を使って、都市の皆さんのお暮らしを守るお家をつくりています。
都市の皆さんのお暮らしに、地方の優れた資源を活かす。
これが私たちのネットワークの理念です。



長野県・岐阜県・愛知県

長期優良住宅先導事業での取り組み

01 環境表示シート「構造材生産」

本環境表示シートは、構造材生産における資源循環を示すもので、資源循環率を算出する。また、資源循環率の算出に用いた資源の種類別生産量と、資源循環率を算出した結果を示す。

資源種別	資源量	資源循環率
木質系資源	86.3%	4,004kg
非木質系資源	60.1%	3,850kg
合計	7,854kg	7,854kg

資源循環率：資源循環率 = (資源循環量 / 資源生産量) × 100

資源循環量：資源循環量 = 資源循環率 × 資源生産量

資源生産量：資源生産量 = 各資源種別の資源量の合計

02 環境表示シート「資源回収・リサイクル」

本環境表示シートは、資源回収・リサイクルにおける資源循環を示すもので、資源循環率を算出する。また、資源循環率の算出に用いた資源の種類別回収量と、資源循環率を算出した結果を示す。

資源種別	資源量	資源循環率
木質系資源	60.1%	3,850kg
非木質系資源	7.85%	2,057kg
合計	7.85%	5,907kg

資源循環率：資源循環率 = (資源循環量 / 資源回収量) × 100

資源循環量：資源循環量 = 資源循環率 × 資源回収量

資源回収量：資源回収量 = 各資源種別の資源量の合計

長期優良住宅先導事業での取り組み

03 環境表示シート「炭素固定量」

本環境表示シートは、炭素固定量を算出するもので、資源循環率を算出する。また、資源循環率の算出に用いた資源の種類別固定量と、資源循環率を算出した結果を示す。

資源種別	資源量	資源循環率
木質系資源	7,856kg	2,057kg
非木質系資源	28,804kg	7,856kg
合計	28,804kg	28,804kg

資源循環率：資源循環率 = (資源循環量 / 資源回収量) × 100

資源循環量：資源循環量 = 資源循環率 × 資源回収量

資源回収量：資源回収量 = 各資源種別の資源量の合計

04 環境表示シート「ウッドマイルス計算書」

本環境表示シートは、ウッドマイルス計算書を示すもので、資源循環率を算出する。また、資源循環率の算出に用いた資源の種類別ウッドマイルスと、資源循環率を算出した結果を示す。

資源種別	資源量	資源循環率
木質系資源	2,057kg	7,856kg
非木質系資源	7,856kg	2,057kg
合計	2,057kg	2,057kg

資源循環率：資源循環率 = (資源循環量 / 資源回収量) × 100

資源循環量：資源循環量 = 資源循環率 × 資源回収量

資源回収量：資源回収量 = 各資源種別の資源量の合計